歩行車ハッピーⅢシリーズ

取扱説明書

対象機種

ハッピーⅢ
ハッピーⅢミニ
ハッピーⅢ抑速ブレーキ2
ハッピーⅢミニ抑速ブレーキ2

この度は弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
歩行車を正しく安全にご使用いただくため、ご使用前にはこの取扱説明書を必ずお読みください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。


ハッピーⅢ


ハッピーⅢミニ


ハッピーⅢ
抑速ブレーキ2


ハッピーⅢミニ
抑速ブレーキ2

目次

●安全上のご注意【全機種対象】…… 2
【抑速ブレーキ機種対象】…… 3
●各部名称 …… 4
●セット内容 …… 4
●製品仕様 …… 4
●組み立て方法 …… 5
●ブレーキの操作および調整方法 …… 5
●本体の折りたたみ …… 6
●折りたたんで立たせる時の注意事項 …… 7
●安全にご使用いただくために …… 8
●座席の使用方法 …… 9
●ご使用前のチェックリスト …… 9
●抑速ブレーキ機種について …… 10
●お手入れの仕方 …… 11
●使用・保管についての注意事項 …… 11
※マルチレインカバーのご案内 …… 11
●メンテナンスについて …… 11
●保証書 …… 12

■安全上のご注意

全機種

⚠警　告

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため下記の項目を必ず守ってください

- 左右のハンドブレーキが確実に効くかどうか、また、パーキングブレーキのかかり具合と解除機能を必ず確かめてください（5ページ参照）。パーキングブレーキが効かない、ゆるい場合はただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 座席を使用する場合は、必ずパーキングブレーキを左右両輪にかけてください。また、傾斜地では使用しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- 本製品は車椅子ではありません。人を乗せたままで移動しないでください。
- 座席の上に乗って立ち上がらないでください。
  また、座席に人を乗せたり、バッグ内に乳幼児を乗せたまま移動しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- 使用される場所に十分注意してください。凹凸、車道と歩道、踏み切り、エレベーターの出入口などの段差や溝、坂道および表面が滑りやすいところで使用される時は特にご注意ください。また、交通量の多いところ、混雑しているところでも十分注意してください。
- 雨や雪、凍結などで滑りやすい所、またエスカレーターでは絶対に使用しないでください。
- 夜間および急勾配の坂道、また、傾斜地（車体が斜めになっての走行）では大変危険ですから使用しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- 歩行時は必ず両手でハンドルグリップを握ってご使用ください。ハンドルグリップ以外の部分（例えば背もたれ）を持って歩行しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- 片方のハンドル部分に極端に荷重をかけると左右のバランスがくずれて転倒する恐れがありますので、十分注意してください。また、片方のブレーキだけを握ったり、片方の握りが弱い場合、左右のバランスがくずれ不安定となり転倒する恐れがあります。必ず両手でハンドブレーキをかけ、左右両輪に同時に同じ力をかけてご使用ください。
- バッグには軽い小物のみ（最大積載量/ハッピーⅢ・ハッピーⅢ抑速ブレーキ2：10kg、ハッピーⅢミニ・ハッピーⅢミニ抑速ブレーキ2：8kg）を入れてください。
  過度の荷物は歩行中のバランスをくずし、転倒してケガをする恐れがあります。
- 最大使用者体重（ハッピーⅢ・ハッピーⅢ抑速ブレーキ2：100kg、ハッピーⅢミニ・ハッピーⅢミニ抑速ブレーキ2：80kg）を守ってご使用ください。

⚠注　意

誤った使い方をすると、人が障害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目を必ず守ってください

ご使用になる前に

- 本体を開く時は折りたたみバーを押し下げて開いてください。横バーが左右とも水平になっていることを確認してください。
- 前脚と後脚が完全に開き、しっかりと固定されているかどうか確認してください。
- 各部のネジ類のゆるみがないか必ずチェックしてください。
- 組み立ておよび調整は5～8ページの内容に従って確実に行ってください。
- タイヤおよびブレーキの摩耗がないかを定期的に保守・点検し、必要に応じて交換などを行ってください。
  （お買い上げの販売店にご相談ください）

抑速ブレーキ機種

⚠ 警　告

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため
下記の項目を必ず守ってください

- 抑速ブレーキではタイヤを完全に止めることができないので、停止する場合はハンドブレーキやパーキングブレーキを使用してください。
- 後キャスター（抑速ブレーキ）のセンターキャップが必ず取り付いた状態で使用してください。外れている場合はただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。ゴミや水の侵入により所定のブレーキ力が得られず、転倒する恐れがあります。
- 抑速ブレーキ力の調節はしないでください。ブレーキ力の調節が必要な場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。ブレーキ力と使用者の運動レベルの不一致により予期せぬ転倒につながる恐れがあります。
- 後キャスター（抑速ブレーキ）にグリスや油は使用しないでください。十分なブレーキ力が出ず転倒の恐れがあります。
- 洗浄の際などに石鹸水や油性のクリーナーを使用しないでください。抑速ブレーキ内部に液体が侵入したり、タイヤ表面に付着したりして十分なブレーキ力が出ず転倒につながる恐れがあります。
- 抑速ブレーキを効かせて、常にタイヤを引きずった状態で使用しないでください。
- 抑速ブレーキの調節は、必ず販売店で行ってください。
- ボルト、ナットの締結部品をゆるめたり、分解・改造したりしないでください。

◆抑速ブレーキ力の確認方法◆

右の写真のようにタイヤ表面には溝があります。この溝が見えなくなればタイヤの交換時期です。この溝が2～3か月以内の早期に無くなる場合はタイヤを引きずった状態で使用している可能性がありますので、以下の注意事項をご確認の上ご対応ください。



- 抑速ブレーキ力の調節をしてください。
  （抑速ブレーキの調節は、必ず販売店で行ってください）

  ブレーキ力が強すぎる可能性がありますので安全に支障のない範囲でブレーキ力を弱めに再調節してください。抑速ブレーキは4段階です。
- 速度を抑えた走行をしてください。

  歩行速度が速い程、タイヤのスリップが生じやすくなります。一般のコンクリート、アスファルト面では時速3.2km以下の速度が目安です。石畳など路面の凹凸が大きい場所では、特に速度を落としてご使用ください。
- 定期点検を推奨します。

  異常を感じられた場合は、速やかにご使用を中止して点検を受けてください。
  また、異常がない場合も1年ごとの定期点検を推奨いたします。

※詳しくはお買い上げの販売店にご相談の上、ご対応ください。

⚠ 注　意

誤った使い方をすると、人が障害を負う可能性や物的損害が発生する
可能性があるため、下記の項目を必ず守ってください

- 抑速ブレーキ力の調節の段階は左右同一にしてください。左右のブレーキ力の不一致により、予期せぬ転倒につながる恐れがあります。抑速ブレーキの調節が必要な場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

■各部名称



①ハンドルグリップ
②ブレーキレバー
③高さ調節ノブ/ボルト
④本体フレームパイプ
⑤ハンドル
⑥ブレーキワイヤー
⑦クッション付き背もたれ
（布カバー付）
⑧座席
⑨バッグ
⑩前フォーク
⑪前キャスター
⑫後キャスター
※抑速ブレーキは
抑速ブレーキセット
⑬センターキャップ
※抑速ブレーキのみ

■セット内容

カートンを開けたら、以下のものが入っていることをご確認ください。

●本体：1台
ブレーキワイヤーが接続されたまま左右のハンドルが
外された状態で折りたたまれています。

●ハンドルグリップ/ブレーキレバー付きハンドル：左右1組

●クッション付き背もたれ：1個
（布カバー付）

●高さ調節ノブ/ボルト：2組

●バッグ（付属品）：1個

■製品仕様

品名	ハッピーⅢ	ハッピーⅢ抑速ブレーキ2	ハッピーⅢミニ	ハッピーⅢミニ抑速ブレーキ2
商品番号	ブルーメタリック：117090 カシミヤベージュメタリック：117091	ブルーメタリック：117155 カシミヤベージュメタリック：117156	パープルメタリック：117092 ローズゴールドメタリック：117093	パープルメタリック：117157 ローズゴールドメタリック：117158
高さ（7段階調節）	80cm～93cm		70.5cm～84cm	71.5cm～84.5cm
横幅	56.5cm	57cm	51cm	51.5cm
奥行	62cm		58cm	59cm
座面高	52.5cm		45cm	46cm
座席サイズ	30.5cm×30.5cm		28cm×28cm	
キャスター径	19cm		18cm	19cm
折りたたみ時幅	43.5cm		41cm	40cm
重量	8.2kg	8.9kg	6.4kg	8.0kg
最大使用者体重	100kg		80kg	
バッグ最大積載量	10kg		8kg	

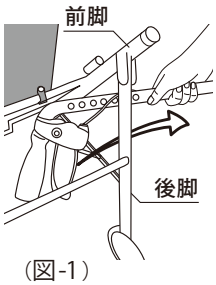
製品改良のため、仕様は予告なく変更する場合があります。

■組み立て方法

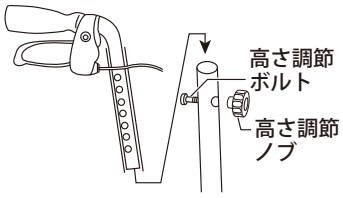
1 前脚と後脚を完全に広げ固定します。

2 左右ハンドルを前脚と後脚の間を通して外側に取り出して(図-1)本体左右フレームのパイプの中に挿入します。
使用者に適した位置で固定します。
同梱のボルトを本体フレームパイプ最上部に付いている内側の穴から差し込み、外側から高さ調節ノブで時計まわりに回し、しっかりと締めつけます。(図-2)

(注)ハンドルに高さ調節用の穴が7つ、2.5cm間隔であいていますので、必ず左右の位置(高さ)を合わせてバランスをとってください。

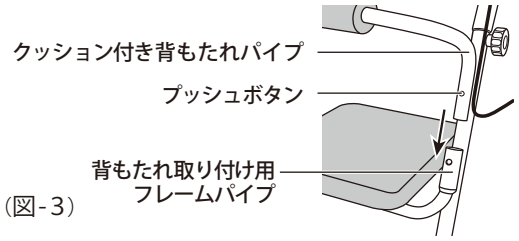


(図-1)



(図-2)

3 クッション付き背もたれを本体に取り付けます。
背もたれ取り付け用フレームパイプにクッション付き背もたれパイプのプッシュボタンを押しながら、所定の穴に「カチッ」と音がするまで差し込み、固定されたことを確認してください。(図-3)

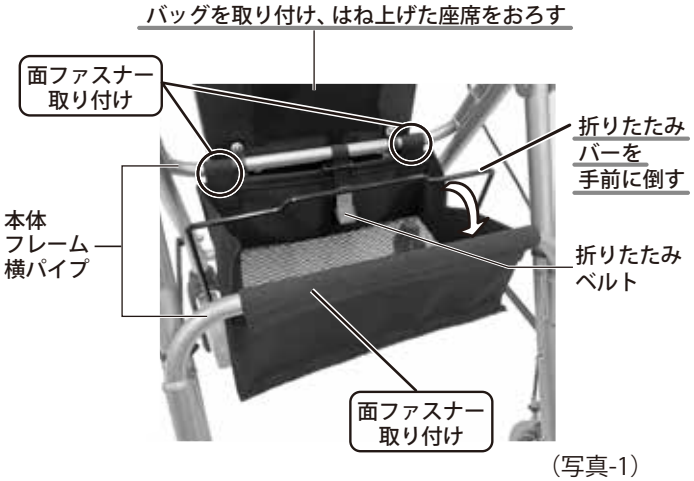


(図-3)

4 バッグを本体に取り付けます。
座席をはね上げ、バッグの面ファスナー部分を本体フレーム横パイプに巻き付けて固定します。(写真-1)

(注)・バッグの前後を確認してください。
・折りたたみバーを巻き込まないように注意してください。
・折りたたみベルトはバッグの中に出してください。

5 バッグを取り付け後、折りたたみバーを手前に倒し、座席をおろします。



(写真-1)

■ブレーキの操作および調整方法

自転車のハンドブレーキを使う要領で、ハンドルグリップとブレーキレバーを同時に握り締めるとブレーキがかかります。歩く時はブレーキレバーから手を放します。ブレーキをかける時は、両手で左右同時にゆっくり適度に握ってください。

パーキングブレーキの操作

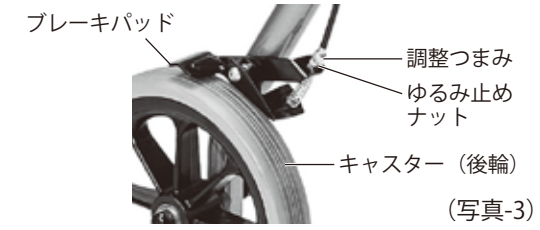
左右両方のブレーキレバーを押し下げるとパーキングブレーキがかかります。パーキングブレーキを解除する時はハンドルとブレーキレバーをもう一度握り締めます。またはブレーキレバーを引き上げます。(写真-2)



(写真-2)

ハンドブレーキの調整

ブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキの効き具合はキャスター側の、ブレーキワイヤーの先端に付いている調整つまみを回して調整することができます。調整後ゆるみ止めナットで固定してください。(写真-3)



(写真-3)

注意 **ハンドルの高さを調節したときは、ブレーキの効き具合が変わります。高さ調節後は、必ずブレーキの調整をしてください。**

■本体の折りたたみ

本体を折りたたむ時

※あらかじめ、バッグの中に入っている ものを取り出しておいてください。

1 本体を手前に引き、前キャスターの向きを右写真（写真-4）の向きにし、安全のため必ずパーキングブレーキをかけてください。

2 座席をはね上げ、片手でハンドルグリップを持ち、もう一方の手で折りたたみバーをゆっくり引き上げます。本体をいっぱいまで折りたたんでください。（写真-5）

3 折りたたみベルトの赤い部分をつまんで、先端のフックを反対側の横パイプに引っかけ、固定します。（写真-６）

4 折りたたんだ状態で自立します。（写真-７）

注意 **本体を折りたたんで立たせるときは、車輪が4輪全て接地する事を確認してください。本体が転倒する恐れがあります。**

パーキングブレーキをかける



(写真-4)



(写真-5)



(写真-6)



(写真-7)

本体を開く時

1 片手でハンドルグリップを持ち、もう一方の手で折りたたみベルトの赤い部分をつまんで、先端のフックをパイプから取り外します。

2 ベルトの赤い部分の面ファスナーを黒い部分の面ファスナーにつけます。

3 折りたたみバーを真っすぐに押し下げて本体を開き（写真-8）、折りたたみバーを手前に倒します。（写真-9）座席をおろします。

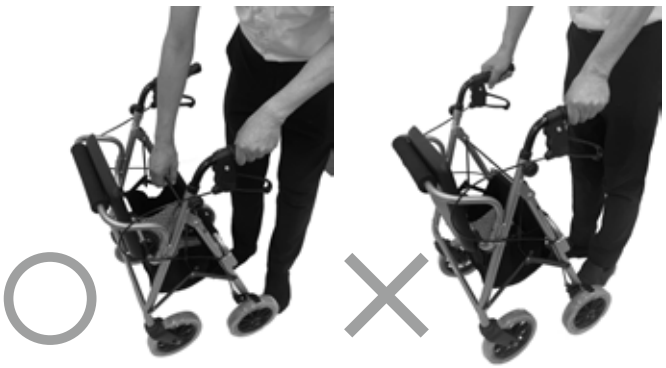


(写真-8)

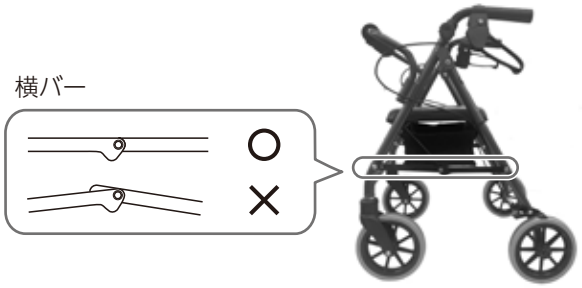


(写真-9)

注意 **ハンドルグリップを押して本体を開かないでください。必ず折りたたみバーを押し下げて本体を開いてください。本体を開いたときに、横バーが左右とも水平になっていることを確認してください。本体が不意に折りたたまれて安定性を失い、転倒する恐れがあります。**



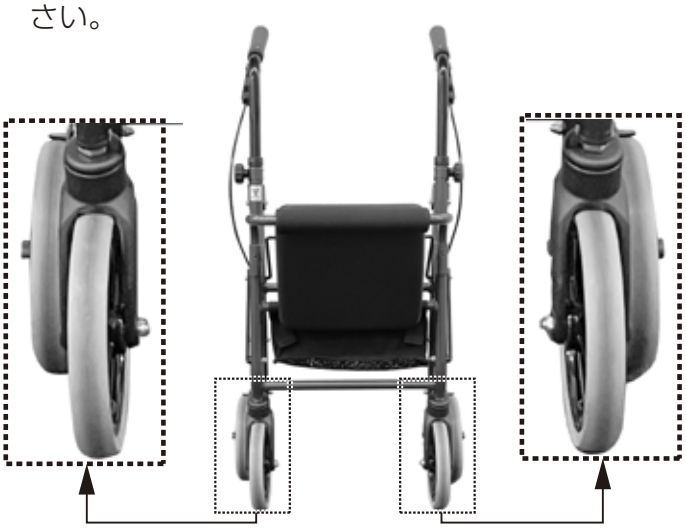
横バー



■折りたたんで立たせる時の注意事項

本製品は、折りたたみ時に自立できるようにしていますが、自立時の安定性を保つために下記の項目を必ず守ってください。

●折りたたんで立たせるときは、前輪が本体の外側に向いて真っすぐになるようにしてください。



●折りたたんだ時に、前輪が本体の内側に向くと自立しません。



●前輪が斜め方向に向くと安定性が低下します。4輪全てが接地する平らな場所で立たせてください。後輪が片方浮くような場所や傾斜がある場所では、前輪の向きが斜めになりやすく、安定性を失い転倒する恐れがあります。

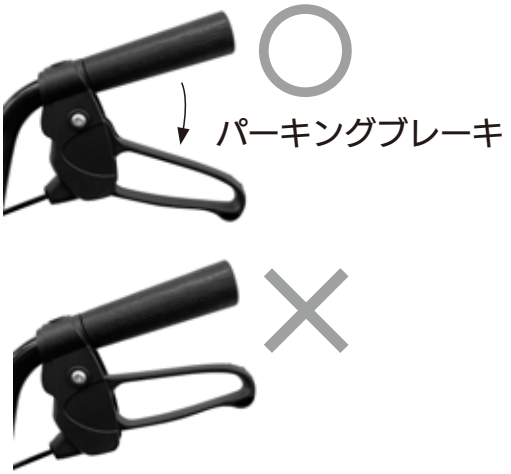


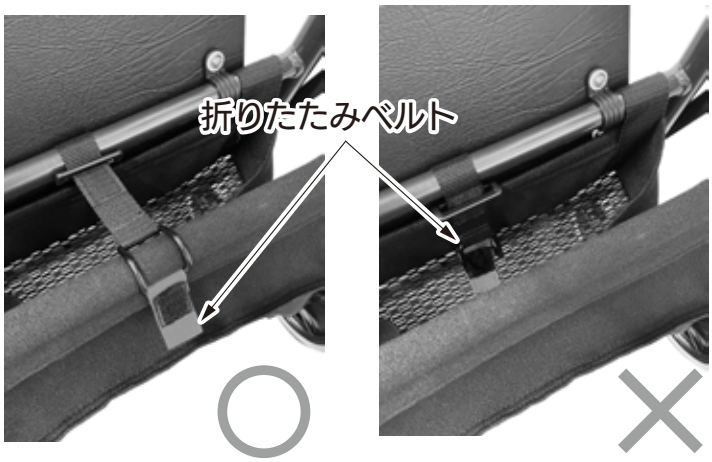
注意

本体を折りたたんで立たせるときは、車輪が4輪全て接地する事を確認してください。本体が転倒する恐れがあります。

●折りたたんで立たせるときはパーキングブレーキを必ずかけて、折りたたみベルトでフレームを固定してください。4輪とも接地していても、パーキングブレーキをかけて、折りたたみベルトでフレームを固定していないと、本体が動いたり、フレームが開いたりして安定性を失い転倒する恐れがあります。

●安定して置くことが出来ない場所では、無理に自立させず、壁などに立てかけるようにしてください。その場合でもパーキングブレーキをかけて、折りたたみベルトでフレームを固定してください。

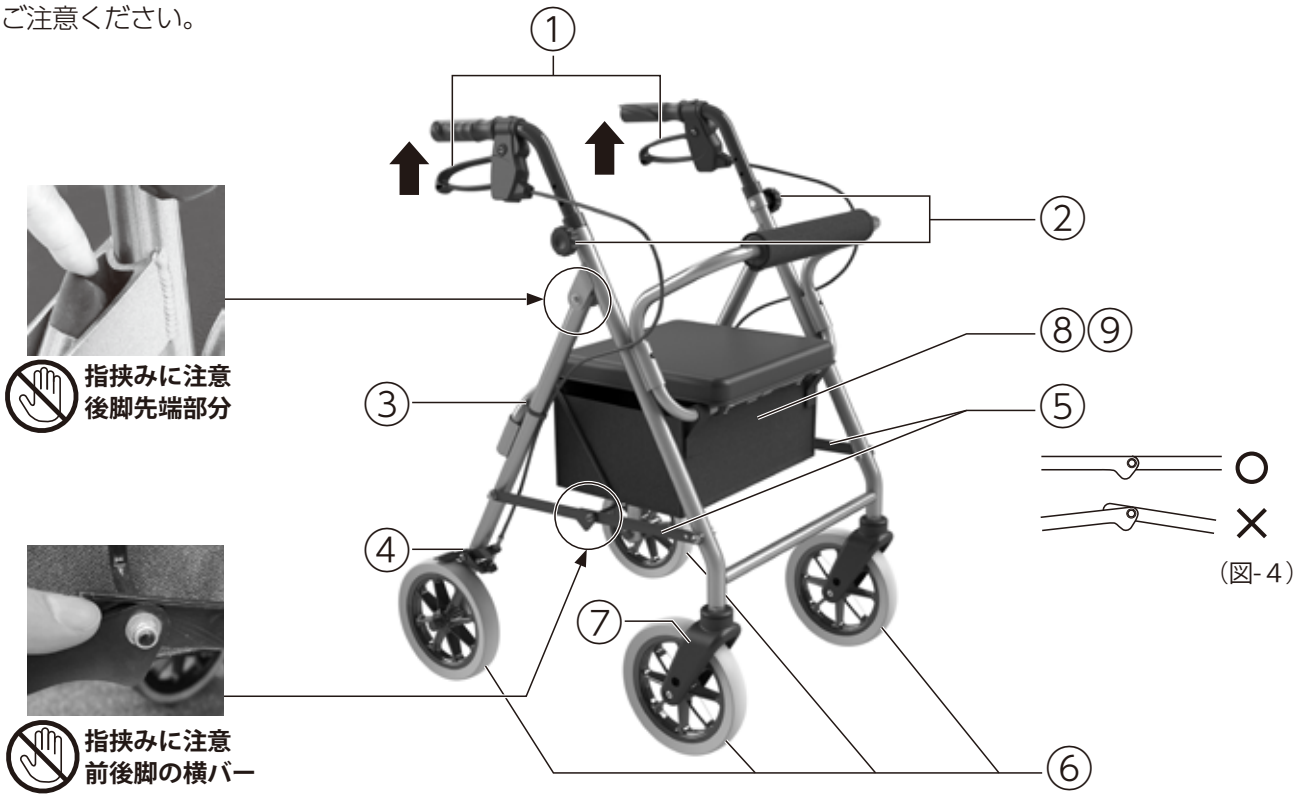




■安全にご使用いただくために

安全にご使用いただくために以下の事柄を都度確認してください

- キャスターが水に濡れるとブレーキがすべり、停止しない場合があります。
  特に水たまりや、雨の日はご使用にならないでください。
- 折りたたみ時は、必ずパーキングブレーキをかけて、折りたたみベルトでフレームを固定してください。
- 特に小さいお子様がいるご家庭ではブレーキワイヤーが絡まったり、指・腕・頭などを挟んだりしないようご注意ください。



（図-4）

①ブレーキは必ず両手で左右同時に同じ力をかけてご使用ください。片方のブレーキレバーだけを握ったり、握りが弱い場合、左右のバランスがくずれ不安定となり転倒してケガをする恐れがあります。

②高さ調節ノブは外側にくるように取りつけてください。また、確実に締めつけてあることを確認してください。

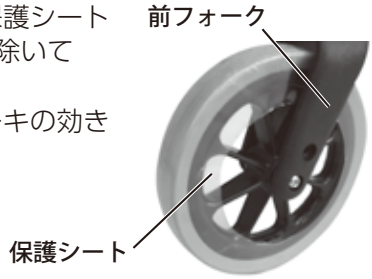
> **注意** **ハンドルの高さを調節したときは、ブレーキの効き具合が変わります。高さ調節後は、必ずブレーキの調整をしてください。**

③組み立て後、ブレーキワイヤーの固定バンドを上にあげて、たわみをなくしてください。他のものに引っかかり危険です。

④ブレーキパッドとキャスターのすき間はブレーキの効き具合を確かめながら調整してください。

⑤前脚と後脚を確実に開いてください。折りたたみバーを押し下げて、横バーを左右とも水平にしてください。（図-4）

⑥前後キャスターの保護シートを必ず4つとも取り除いてください。
取り忘れるとブレーキの効きが悪くなります。



> **注意** **保護シートなどを取り外す際、カッターナイフを使用しないでください。**
> キャスターに傷がつく恐れがあります。

⑦左右の前フォークがスムーズに回転するか、ガタツキがないかを確認してください。

⑧バッグが破れたり、ほつれたりしていないか確認してください。

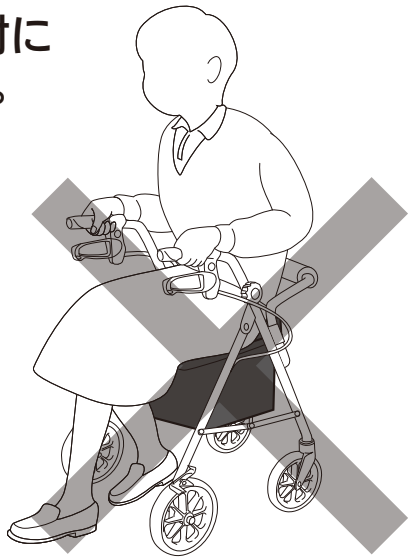
⑨バッグの面ファスナーが外れたり、ずれたりしていないか確認してください。

■座席の使用方法

座席に座る場合は、まず左右のパーキングブレーキをかけ、動かないことを確認のうえ、ゆっくりと後ろ向きに座ってください。

⚠警　告

危ない使い方は絶対にしないでください。



車椅子のような使い方はしない。

■ 座席に座ったまま脚で漕ぐなどして移動しないでください。
また、人を乗せたままで移動しないでください。

■ 座席を使用する場合は、必ずパーキングブレーキを左右両輪にかけてください。また、傾斜地では使用しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。

■ 座席の上で立たないでください。

■ご使用前のチェックリスト

安心してご使用頂くために、定期的にこのチェックリストにそって各部を点検し、修理等が必要な場合はご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

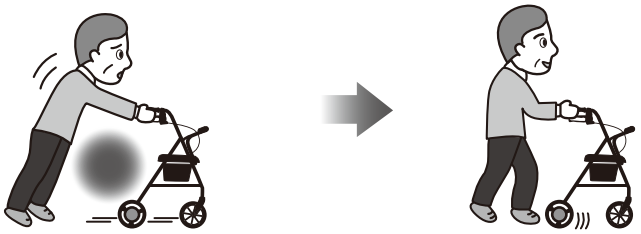
チェックリスト		
組み立て	組み立てや折りたたみがスムーズにできるか	
フレーム	亀裂・破損・変形などがないか	
ハンドル	ハンドルにゆるみやガタツキがないか	
	スムーズに操作することができるか	
	左右の高さは同じか	
ブレーキレバー	ハンドブレーキは左右ともに確実に効くか	
	パーキングブレーキは左右ともに確実に効くか	
	ブレーキワイヤーがゆるんでいないか	
各部のボルト	高さ調節ノブ／ボルトは確実に締め付けているか	
	各部のボルト、ナットにゆるみはないか	
	各部のボルト、ナットはなくなっていないか	
前後のキャスター	摩耗や亀裂はないか	
	動作時にきしみ音や異常な音はしないか	
	※抑速ブレーキ付のみ 後キャスター（抑速ブレーキ）の効き具合が悪い、もしくは効かないことはないか	
	※抑速ブレーキ付のみ 後キャスター（抑速ブレーキ）のセンターキャップが外れやすくなっていないか	
前フォーク（左右）	スムーズに回転するか	
	前フォーク部にガタツキがないか	

■抑速ブレーキ機種について

※抑速ブレーキ機種をお持ちのお客様は、10～11ページを必ずお読みください。

「ハッピーⅢ抑速ブレーキ2」「ハッピーⅢミニ抑速ブレーキ2」は、加速を抑えることができるブレーキを後キャスターに内蔵しています。急加速時のみ自動でブレーキが作動しますので、通常歩行時はブレーキがかからずスムーズに歩行ができます。

下り坂などの急加速時に
作動する自動ブレーキ



警告

停止するときはハンドブレーキや、パーキングブレーキを使用してください。
抑速ブレーキはタイヤを完全に止めることはできませんので、歩行車から完全に使用者が離れてしまったときなどは転倒する恐れがあります。

タイヤ交換時期の確認方法

- タイヤの外周に溝が４箇所ありますので、溝があるか確認してください。
- この溝が左右のタイヤのどこか１つでも擦り減ってなくなった場合には、タイヤの交換時期ですので、必ず販売店にご連絡ください。



注意

左右のタイヤを両方とも交換してください。
片方のみの交換の場合、左右のブレーキ力に差が出る可能性があります。

故障かな？と思ったときは

各状況に応じて、以下の内容に沿って調べてください。
それでも直らない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

状況	調べること	処置
後キャスター（抑速ブレーキ）がロックされたままになっている	歩行車のパーキングブレーキが作動したままになっていませんか？	歩行車のパーキングブレーキを解除してください。
	センターキャップ内で部品が外れていませんか？	ただちに使用を中止し、販売店までご連絡ください。
抑速ブレーキの効きが悪い	ブレーキ力の調節が弱くなっていませんか？	ただちに使用を中止し、販売店までご連絡ください。
異音がする	車輪の軸に何か挟まっていませんか？	●挟まっているものを取り除いてください。 ●解消しない場合には、販売店までご連絡ください。
タイヤが大きく振れる	ボルト、ナットがゆるんでいませんか？	ただちに使用を中止し、販売店までご連絡ください。

※抑速ブレーキ作動音：本ブレーキ機構は摩擦式のため、こすれるような音が多少発生します。
また、その音は気温や湿度などの環境によって変化します。

■お手入れの仕方

● 本製品は清掃して清潔を保ってください。
● 適度にうすめた中性洗剤をスポンジかやわらかい布に含ませて汚れをきれいに拭き取ってください。
● 水で洗剤を流し、陰干しにするか、乾いた布できれいに拭き取ってください。
● タワシや磨き粉、研磨剤入りスポンジなどは使用しないでください。
（塗装がはげて、サビ、変色、劣化の原因となります。）
● シンナー、クレゾール塩素系洗剤などは使用しないでください。
（プラスチックが劣化または破損してケガの原因となることがあります。）

抑速ブレーキ機種

警告

● お手入れの際は水をかけず、乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
汚れがひどい場合は、水を含ませ固くしぼった布で拭いてください。
● 後キャスター（抑速ブレーキ）にグリスや油は使用しないでください。
● 洗浄の際などに石鹸水や油性のクリーナーを使用しないでください。

後キャスター（抑速ブレーキ）内部に水が入った場合は以下のことを行ってください。

1. 前後に5、6回スピードを付けて動かす。
2. 自動でブレーキがかかることを確認する。
3. 自動でブレーキがかからない場合には、何回かブレーキをかけてブレーキ力が回復することを確認してから使用してください。

■使用・保管についての注意事項

● 保管時は直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
（サビ、変色等各部の劣化の原因となることがあります。）
● 床が濡れている場所、ワックスや漂白剤が残っているような場所は避けてください。

警告

床の素材により、タイヤ痕や油シミのような汚れが床に付着する場合があります。
室内などで使用・保管等をする場合は、十分ご注意ください。
＊ 床面の上に汚れても良いようなカーペット等を敷いていただくことをおすすめします。

抑速ブレーキ機種

警告

● **水がかかる場所や風雨にさらされる場所では保管しないでください。**
作動不良や機器の故障により事故につながる恐れがあります。

● **車のトランクや高温になる場所には保管しないでください。**
作動不良や機器の故障により事故につながる恐れがあります。



歩行車の未使用時・保管などに

別売カバーのご案内

マルチレインカバー 大

さまざまな歩行車・シルバーカーに対応できる
汎用性のあるカバー

商品詳細はこちら▼

■メンテナンスについて

●メンテナンスについては、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
販売店は、専用の修理マニュアルに沿ってメンテナンス等を行ってください。

【無料修理規定】

1. 取扱説明書・本体警告ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買い上げの販売店が無料修理いたします。

2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。

①本書のご提示がない場合。

②本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。

③使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。

④お買い上げ後に落とされた場合などによる故障・損傷。

⑤火災・公害および地震・雷・風水害その他天災地変などの、外部に原因がある故障・損傷。

⑥以下の消耗部品については無料修理の適用外です。

・キャスター　・ブレーキワイヤー
・ブレーキパッド　・座席

3. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★この保証書は本書に明示した期間･条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従いましてこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

★保証期間経過後の修理などにつきましてご不明な場合はお買い上げの販売店または、弊社にお問い合わせください。

〈輸入・販売元〉

株式会社竹虎®

〒246-0001 神奈川県横浜市瀬谷区卸本町 9279-69

商品に関するお問い合わせ 0120-798-777
（月～金 9:00～17:00 ただし祝日を除く）

https://www.taketora-web.com/